

# ドイツ語科

ドイツ語はゲルマン語派のなかでも西ゲルマン語というグループに属し、系統的には英語・オランダ語・フリジア語などと近い関係にあります。歴史的にはフランス語やイタリア語など隣接する諸言語の影響を多分に受けながら発達してきました。ヨーロッパでこれを母国語とする人の数はロシア語について多く、使用地域もドイツ、スイス、オーストリアから東欧へ広く分布しています。

ベルリンの壁の崩壊に象徴される冷戦構造の終結は世界の価値観を大きく変えましたが、人やモノの流れがますますボーダレス化する今日、とりわけ EU 内の政治・経済においてドイツが果たす役割には多くの注目が集まっています。また、地球環境保護政策とその実践という点でも、ドイツは世界をリードする立場にあります。他方、学問や芸術に目を向けてみると、ドイツは哲学・音楽・文学などの分野で先人たちの残した遺産がきわめて多彩、かつ豊富です。すぐれた哲学者を何人も輩出し、創造された音楽はほぼ無尽蔵といっても過言ではありません。文学もゲーテやシラーだけでなく、グリム兄弟やハイネ、トーマス・マンやヘッセ、カフカやブレヒトなど、さらには現代作家からも注目すべき作品が次々と生まれています。

こうした状況のなかで、ドイツ語学習の必要性もこれまで以上に高まっています。「ドイツ語科」では、会話力はもとより、読む能力や書く能力の育成にも重点を置いた総合的な外国語運用能力の深化・発展をめざしています。成績評価基準と修了条件は以下の通りですが、これまでの学習歴、あるいはその時点の学習状況を踏まえ、担当講師がきめ細かい相談に応じます。

## <成績評価基準>

100点満点で60点以上が上位レベルに進む際の見込みとなります。

## <修了条件>

上級コース(週3回)に合格した時点でドイツ語科講座の課程修了となります。希望者には修了証を発行します。

基礎・初級は、学習効果上はコース(週3回)での受講が望まれます。ただし、受講生の学習目標に応じて、週1回(文法:単科A)、もしくは週2回(会話:単科Aセット)の受講も可能です。中級コース・上級コースは、春学期と秋学期に異なる内容の講座が開講されますので、学習効果上は同レベルの講座を2期受講することが望まれます。他方、中級と上級は週1回からご自分のペースに合わせて受講することも可能です(単科A)。同じレベルにある2つまたは3つの講座を同時に受講するコース・セット科目を受講すると、学習効果も上がり、受講料も割引になるので、お時間がある方にはお勧めします。(単科講座を個別に複数受講しても受講料の割引はありません。)

単科Aという受講方法は成績がつかみませんので、継続して受講を希望される方は、次の学期にどの科目を受講したらよいか担当講師と相談しつつ決めていくことができます。